

精神腫瘍学開発分野の活動例

- ・ がん患者に対する外来診療を支援する予防的コーディネーションプログラムの開発
Support Aids for Fragile Elderly patient to ensure Proactive Coordinated care : SAFE-PAC

社会的要請
ニーズ

「高齢者のがん治療固有の問題」

問題検索
抽出

I. 具体的な問題の検索・抽出

- ✓ 併存症・合併症・認知機能低下
- ✓ 標準治療適応の限界
- ✓ 社会的支援の必要性

【目的】

CGAに基づくアセスメントと症状モニタリングの自動化をすることで、療養生活の質を改善する。

プログラム
開発

II. プログラムの設定

- ✓ 症状の変化に対する看護師やMSWによる包括的アセスメント(CGA)および症状モニタリング

III. 研究開発の推進(領域・プログラム)→各研究チームが実施

①詳細現状調査

アセスメント・モニタリングの不足によるQOLの低下

②仮説設定

「標準化されたCGAによる症状・社会的問題の早期発見と、コンプライアンスの改善」

③解決策立案・改定

「IT支援(タブレット)の利用による患者・医療者の不安の軽減」



PDCAサイクル

④実装

プロトタイプ
効果検証

IV. プロトタイプの提示

V. プロトタイプの効果検証

指標 (QOL・身体症状・認知機能・入院日数) の変化を解析

実装

教育研修

- ✓ 受け手の規模
- ✓ 社会の需要・合意形成
- ✓ 技術の要素
- ✓ 制度的制約

普及
モニタリング

情報提供・ネットワークの活用

定着